

## この夏も熱き思いで

### 「夏休み森林環境教育」

高知市の小学校やふれあいセンターからの講師依頼を受け、「夏休み森林環境教育」が始まりました。

初日は、七月二二日（水）五台山小学校児童クラブ（高知市）で実施。

現代社会では、児童たちが森林や林業に親しむ機会が少ないことから、「森林のはたらき」を児童たちとトーク形式で話しあったり（写真上）、木を使った木作品にも挑戦。（写真下）

講師依頼は、小学校児童クラブから一六校、ふれあいセンター等から四箇所、参加児童（保護者含む）は約七〇〇名を超える見通しです。

このため今年も、指導にボランティアの協力も頂き、スタッフ一同、暑さを超える熱き思いで森林環境教育に取り組んでいます。



## 誌上 森林環境教育

### 里山の利用と管理目標

里山（写真）と人々の関わりには長い歴史があり、その姿は時代とともに大きく変わってきたことを、近くの里山の観察を通じて実感する。

#### 準備

林業辞典、地名辞典、薪、炭、キノコ

#### 手順

- (1)自分の住んでいる県や郡内などに、松ノ木・栗林・松原・大工町・神母ノ木などのような、木にかかわる名前の町村を調べてみよう。
- (2)近くの里山（雑木林を含む）に出かけ、その様子を観察しよう。
- (3)なぜ、里山は荒れてきたのか、どうすればその状態を改善できるのか、一緒に話し合っ、考えてみよう。

#### 最近の里山

里山の状況を改善するために、最近では全国各地で地元の人々とボランティアの方々の協働による里山の管理が行われています。

（大日本山林会 日本の森林と林業より）



### 「あとは野となれ 山となれ」って



「あとは野となれ 山となれ」。

あとは知ったことではない、どうにでもなれ、と無責任をいう言葉ですが、野は草原・山はわが国では森林とイコールですから放っておいても草が生え、木が生える湿潤なわが国ならではのことわざ。

砂漠地帯では生まれようもない言葉です。ついながら、遷移の早い段階は草、続いてイバラなどの低木でしたが、「クサカムリ（植物）に早」で「草」。「クサの次」と書いて「茨」。さらに言うならば、「クサの基盤（台）は「苔」。なるほど文字とはよくできたもの。いずれも遷移（せんい）どおりです。

（ことわざの生態学 只木良也著より）

#### 編集後記

毎日の挨拶「今日も暑いですね～」。

日本列島は暑さのオンパレード。

体調と水分補給のバランスを。